

# 東京専従日誌

全日本教職員連盟  
事務局次長 原井 和彦



「我ら古閑裕而とともに②」

皆さん、御無沙汰しております。全日教連の原井です。今回も、全日教連結成と今話題の古閑裕而さんの関わりについて、山本豊全日教連第三代会員長からの香教連へ御寄稿頂きましたので御紹介します。

全日教連の歌をどうするかといった議題で提案した時にスミーズに具体化できたのはたまたま新教組(昭和四十三年結成)には組織の歌がなかったため日教連(昭和四十五年結成)の歌を紹介する機会をいただき、古閑裕而氏作曲、小山英夫作詞の内容について説明し、了解を得て決定した場面が、鮮明によみがえる、という訳でこの歌の原点は昭和四十五年です。代表は高島優氏であった。

会歌は会の目標を表現しており、新教組も日教連も共に日教組の政治闘争、教育行政闘争一辺倒の運動に日夜明け暮れ、労働歌「緑の山河」を高歌していた日教組を脱退して教育の正常化と目標に結成した団体同士だけに「いとし子とともにわれらは進もう」といった歌詩とふるさとを愛する人づくりを願った曲風に対し、代表の方々は、満場一致で賛同をいただいた。

結成間近になり当時岐阜から専従として勤めておられた浅井武士氏(事務局次長)とともに古閑裕而氏の世田谷にあるお宅に伺いよく了解をいただき、部屋にあったピアノで二小節を弾いて了解を得た。その時、実際にピアノを弾いていたのは古閑氏の長男の奥様であった。古閑裕而氏は今脚光を浴び、NHK朝のドラマ「エル」の主人公、甲子園の歌とも言われる「栄光は君に輝く」、「スポーツ行進曲」、「紺碧の空(早稲田大学応援歌)」、「我ぞ覇者(慶応大学応援歌)」、「高原列車はゆく」、「長崎の鐘」、「イヨマンテの夜」、「大衆のうた」等、三千曲も残した名作曲家であり国民に夢を与えている。

平成元年八十歳で亡くなられたが、拳を振り上げて団結を叫ぶ労働歌のメロディーではなくふるさとに育つ子供たちとともに集う教職員の心を歌い上げている曲風は全日教連のストーリーガンである。「美しい日本人の心を育てる教職員団体」の熱き想いを見事に表現している。

元全日本教職員連盟委員長

一般社団法人全国教育問題協議会常務理事

山本 豊

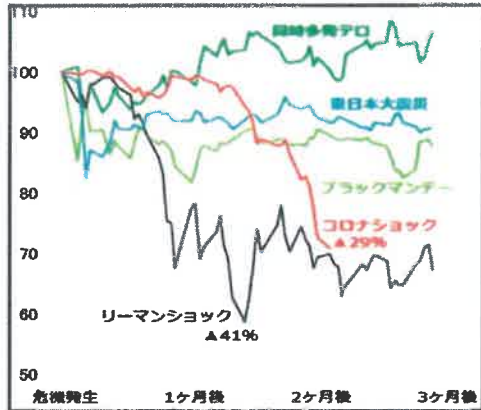


## 先生のためのマネープランコラム

\*ファイナンシャルプランナーからのお便り\*  
「新型」コロナショックについて  
特別編 最終編

今回のコロナショックで、ファイナンシャルプランナーとしてお伝えしたいことをまとめたいと思います。

まず一つは、マーケットのショック(金融危機)は時期はわかりませんが、必ず起こるという事です。前回のリーマンショックの時は、「一〇〇年に一回」と言われましたが、実際には今回のコロナショックは約一〇年後に発生しました。過去の歴史を振り返っても、一九二九年ウォール街大暴落、一九八七年ブラックマンデー、二〇〇一年ITバブル崩壊など、数々のマーケットショックが発生しました。マーケットショック(金融危機)は必ず起こる、ということが必要なんです。



次に二つ目は、「長期・分散・積立」の基本を守った資産形成を行えば、マーケットショックが発生しても、通常と変わらず精神的にもゆったりとした気持ちでいられるということです。実際に、今回のコロナショックを契機に、個人で積立投資を始める方が増えています。「長期・分散・積立」をしつかりと理解し、実行することが「資産形成にはとても重要だ」ということを改めて認識させられました。今回は終わろうと思いません。

F P ラボ代表 伊藤祐一

## 合格に向けて採用試験対策部研修会開催!

八月六日(木)十七時三〇分より、香川県教育会館第一・二会議室において、令和二年度第四回採用試験対策部研修会を開催した。

新型コロナウイルス感染症防止のため、マスクの着用やアルコール消毒、座席の距離をとるなど、ソーシャルディスタンスを確保した環境で行った。

北村頭吾香教連委員長の後、「二次選考試験対策」として、個人面接や模擬授業に関する内容を中心に講義・演習をした。



個人面接や模擬授業に関する講義では、香川大学大学院教育学研究科・高度教育実践専攻(教職大学院) 准教授である大熊裕樹先生をお招きして、個人面接や模擬授業を行うなどについて詳しく講義していただきました。また、実際に個人面接や模擬授業を行い、参加者同士で良かった点や改善点などを確認したり、大熊先生から御指導をいただいたりした。

参加者にとって二次選考試験突破に向けて、たいへん有意義な研修会となった。



## 全日教連第二七回執行委員会 リモート会議で開催

八月二日(日)、全日教連はオンラインによる第二七回執行委員会並びに、第二一〇回教文研理事会、令和二年度団体総合共済会第三回理事会が開催された。香教連から、北村頭吾委員長、村松宏晃事務局長が出席した。まず、執行委員会では、今後の全日教連行事(ブロック会議や専門部会)や活動(第六次「第一〇次中央要請行動」等)について審議した。

次に、教文研理事会では、教育シンポジウムにかえて教育ウェブセミナーを開催すること等について審議した。

最後に、共済会理事会では、各種制度の周知方法の在り方等について審議した。

